

新成人を祝う会&新年会に77人

新成人の(写真右から)小鷹さん、浅田さん、伊藤さん、熊崎さん、岩島さんのそれぞれの門出をお祝いするさんしょうの会の新年会を1月14日(土)、三福寺町公民館で行いました。77人が参加。出演者の演奏を聴いたり、踊ったり、美味しい料理を食べ、華やかな集まりとなりました。沢山の差し入れ等いただきありがとうございました。フルーツバスケットの協賛を受けて開催しました。



さんしょうの会

2017年1月31日 発行
 特定非営利活動法人 さんしょうの会
 電話 0577・32・8709
 ホームページ「さんしょうの会」で検索

ご成人おめでとうございます。これからもいっぱい笑顔のみんなですごしていこうね。
おおつぼ

成人おめでとうございます。これからも頑張ってください。めぐみ

これからもその「笑顔」を忘れず1歩1歩自分のペースで歩み続けてください!!

おもったりさけんたりかなしくなったりかんじたりしていきましよう 祝 道添健太郎

来賓として、川上哲也県議、谷沢政司、榎隆司両高山市議が出席し、乾杯の発声、ご挨拶をいただきました。さらさら仲間や職員、親御さんからお祝いの言葉をいただき、壁一杯になりました(写真右)。



新成人やご両親からは、「こんなに大勢の方々にお祝いしていただきうれしいです」などと挨拶があり、働く仲間から花束の贈呈がありました。

これからの予定

- ◎ 2/2 (木) 午後7時~8時半、第2きらら、「きららの家」検討委員会
- ◎ 2/18 (土) 午後、19日午前、福祉センター4階和室、土岐ゼミ発達検査報告会
- ◎ 2/19 (日) 10時~14時、大学生と事業所利用者、職員とのラーメン・ピザパーティ (三福寺町公民館)
- <春休み親子体験教室>
- ◎ 3/25 (土) 午前9時~正午、第2きらら、クラフトバック教室 (クレヨンひだ様講師)
- ◎ 3/26 (日) 午前9時~正午、きららハウス、ピザ作り教室
- ◎ 2/11 (土) 9時~12時、拡大理事会、於) 第2きらら (どなたでもご参加いただけます。さんしょうの会のこと、皆で知恵を出し合って考えていきましょう)



大溝先生の踊りに合わせて楽しむ参加者ら



今日一日良き記念となる様に 清水慎一郎

笑顔いっぱい輝いて すごせますように

いよいよ大人の仲間入りですね。これからも笑顔で過ごせますように。

いつもありがとう♡みんなとのでいにカンシャ☆☆です!(^^)! たのしいこうね。せがわより

新成人の皆様、おめでとうございます。これまでと同じように、皆と仲良く楽しく力を合わせてさんしょうの会を盛り上げていきましょう。よろしくお祈りします。志賀厚子



毎年大人気のワシミバンド

「ありがとう」の言葉は人の心を温かくし、良い人間関係を作ってくれる魔法の言葉です。笑顔とぬくもりに満ちた人生でありますように。応援しています。ゆめ匠パン工房17人より

20歳になるとたくさんの出会い、たくさんの経験ができるようになります。一日一日を楽しく、元気に過ごしてください。そしてこれからの毎日を自分のペースで楽しんでください。近藤響子

冬休み親子体験教室

「またパン作りしたい」



青年会議所から
たくさん日用品の
寄付うけました

高山青年会議所からトイレットペーパーやティッシュなど生活用品の寄付を受けました。12月26日総合福祉センターで行われた贈呈式にきららの仲間たちも参加。新理事長となる桑山智一さんから諸団体を代表して「さんしょうの会」の第2きららの仲間たちが受け取りました(写真左)。

冬休み親子体験教室が1月7日(土)8日(日)開かれまして、7日は、きららハウスで、道添健太郎さんの指導によりウインナーロールパン、クリームパンを作りました(写真右)。3組の親子9人が参加。「パンづくりの楽しかったです。とてもおいしかったです。またつくりたいです」「ソーセイジにパンの生地をまいたり、クリームをたくさん入れてつつぶ所が楽しかったです。焼きだてのパンを食べられ、おいしかったです。またパン作りをしたいです」と参加した子どもたちから便りが届きました。



生活用品をお使いください

ショートステイ事業「きららの家」

1月26日
第4回実行委員会
報告します

第4回実行委員会が1月26日開かれ、5人が参加。そこで次のような意見が出され討議されました。

◆「きららの家」設立の趣旨書案

「障がい児者が地域の中で心豊かに生き生きと生活できるための環境や選択肢はまだまだ不十分であるのが現状です。親亡き後を考えると関係者誰もが非常に不安に思っています。『きららの家』の設立は、障がいのある仲間にとって、自立のための大きな一歩になるはず。『終の棲家』となる『きららの家』の設立が必要であると強く信じています。

◆ 候補地・細江工務店の図面化を進め見積もりを出す。

◆ さまざまな方法を使い、募金に取り組む。

◆ 地域の中で障がいのある人がどんな生活をしているのかというところを地域の人に知ってもらう、暮らしやすい地域に変えていきたいと思います。

◆ 終の棲家を地元で希望しても現状の社会資源の状況では、県外に出なければならぬ。生まれ育った場所で自立して生きていくことが可能な現状。どんなに障がい重くても自立して生活ができる環境、社会資源を創り出す。

◆ 地域の中でどんな運動をしに行くか。関係団体にどんな声かけをしていくか。

◆ 文章のどの長さが良いかを検討する。長短両方必要では。

◆ アンケートの中でもグループ

◆ 目につくパンフレットのよいなものをつくる。表題大きなキーワード例「私たちが県外に追い出さないで」。金額等を書く。人目を引くようにレイアウトする。現状を伝えることで「きららの家」実現という目標の必要性を多くの人に理解してもらうことができ、支援する側にとってもメリットがあるものを作る。こんなことに困っている。説得力のある訴え、人の心に響くものにする。

◆ パンフレットグループ、設計図グループに分かれて効率よく討議していく。

今年4月から

事業形態の見直し 隔週土曜日営業も

今年4月から事業形態の見直しを検討中です。きららハウスを生活介護中心の事業所にし、生活介護の事業所の営業を隔週の土曜日にも営業することなどです。

祝 船坂真理さん 第9回デザインコンクール 入賞

きららハウスの船坂真理さんの油絵で描いた花束の作品『ありがとう』が、第9回グッドデザインコンクールに入選しました。来年のカレンダーやステッカーに採用されます。おめでとうございます。